

春のおとずれ

## 🌸 コロナ禍の医療連携 🌸

共和病院 地域調整支援部  
連携室 次長 三鬼ルミ子

医療連携を担当し、3年目を迎える三鬼ルミ子と申します。当院における医療連携の役割の一つに、他の医療機関との転院相談があります。2020年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、これまでの確認内容に加え、発熱・肺のCT画像・PCR検査や抗原検査の結果等のやり取りが追加されました。また、入院予定の患者様やご家族への説明時には、入院中の面会制限の内容が追加されました。入院されること自体が不安な中、COVID-19による面会制限で患者様やご家族に、より不安な思いをお掛けしておりますが、感染予防対策上必要な対応について、ご理解ご協力くださり感謝しております。COVID-19の情報については、私たち医療関係者であっても主にマスメディアからの発信に頼っている状況です。このような中、近隣の関係機関から「COVID-19が発生しました。当面の間、新規患者様（利用者様）の受入れを制限させていただきます。」という情報を頂くことがあります。続けて通常再開に至るまでの情報が提供されます。

マスメディアからでは知りえないこのような情報は、医療連携を通しての情報となり、連携の大切さを実感しています。今後も関係機関と協力しながら対応に取り組んでまいります。

2021年2月末、愛知県の緊急事態宣言は解除されました。しかしその後も、愛知県のCOVID-19患者様の病床使用率は警戒レベルです。当院の役割として、COVID-19回復後に入院継続が必要な場合は、可能な限り受入れを行い地域医療に貢献していきたくと思います。

2021年3月8日から、愛知県内の医療従事者に対して新型コロナウイルスワクチンの予防接種が始まりました。ワクチンの効果は、「発症予防・重症化予防」です。当院は医療従事者や国民の皆様へのワクチン接種がスムーズに行われるように県や市、医師会と協力していきます。ワクチンの効果と国民の皆様のご頑張りにより、COVID-19が終息に向かい、「希望に満ちた2021年度」になることを願っています。



日本医療機能評価機構  
認定シンボルマーク

# TOPICS・EVENT

## 第12回 共和会研究発表会

3月6日（土）当院の多目的ホールにて第12回共和会研究発表会を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、どのような開催方法が良いのか模索しましたが、今年度も昨年同様に地域の皆様をお招きするのは断念して職員のみでの参加とし、入場時の検温、消毒、会場の換気等、感染予防に十分注意しながら全5題の発表を行いました。

外国人技能実習生の受け入れについての発表では管理支援団体と連携をとりながらの情報共有や育成方法に関する相談、指導内容の報告、また実習生の生活での環境を整える等の取り組みを紹介しました。

他4題の発表では、多職種との連携、協力の大切さを中心に報告しました。

終了後の感想アンケートでも「多職種の様々な取り組みを学ぶことが出来ました」「地域との連携を考える機会になりました」という回答が多くありました。また「院内だけの発表では勿体無いのでホームページに掲載してはどうか」「さらにこの続きを発表して欲しい」等の意見もありました。研究発表会実行委員として、この意見をこれからの委員会活動に活かし、来年の第13回共和会研究発表会は、新型コロナウイルスの影響もなく、地域の皆様をお招きして開催できるようにすることを願っています。

共和会では今後も様々な医療・介護等の提供、地域の関係機関との連携に取り組んでまいります。

研究発表会 実行委員 夫馬 浩一



### 研究発表プログラム

1. 医療療養病棟で外国人技能実習生を受け入れて  
安藤 三津子（看護師）



2. 精神科救急病棟における集団SSTに取り組んで  
一エンパワード-SSTを目指して一  
片岡 芳彦（作業療法士）



3. 当院におけるNST活動の取り組み  
一経管栄養・経静脈栄養から経口摂取へ一  
谷口 美奈子（管理栄養士）



4. 住民と共に支える精神科病院の取り組み  
一できることもちよりワークショップの実践報告一  
松崎 穂（看護師）



5. 統合失調症を伴う自閉症患者への関わり  
一多職種共同による情報共有一  
北野 智和（作業療法士）



## よりよい人間関係を構築していくために

2020年12月5日、教育委員会の時間外研修を開催し、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会アンガーマネジメントファシリテーターの林哲也さんを講師にお招きして、「アンガーマネジメント」について学びました。

アンガーマネジメントは、1970年代にアメリカから広まった「怒りと上手に付き合う」「怒りの感情をコントロールする」ためのトレーニング方法です。

講師の林さんは、アンガーマネジメントを学んで実践すると、①無駄なことにイライラしなくなる ②怒ること怒らないことのメリハリが出てくる ③パワハラ防止につながる ④相手の怒りに振り回されることが少なくなる ⑤組織やチームのコミュニケーションがよくなる ⑥ミスやトラブルが少なくなる、といった多くのことが期待できると話されていました。

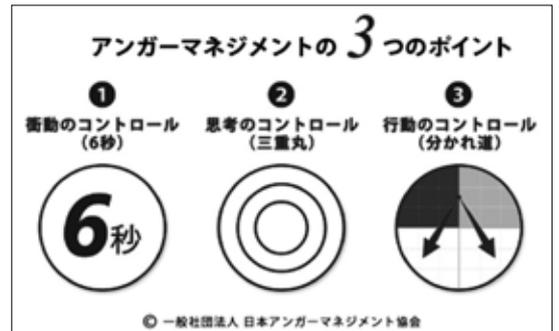
講義では怒りのメカニズムを知りました。怒りの感情が出てきた時には「6秒数えて怒りを鎮める」「怒りに点数をつけて、あらかじめ考えておいた対処策をとる」「怒りを感じた時にメモを取る」といった対処方法を学びました。

職場や家庭で「怒りの感情」が出てきた時には、今回学んだことを活用して毎日楽しく過ごせる時間を増やし、楽しい人生を送っていきたいと思います。

看護師 鈴木 誉也



林 哲也さん



## グループホーム 南天

## 認知症対応型グループホーム 南天 建設中!

共和病院から北西の位置「あしび」と「すみれの丘」の間に、新たに『認知症対応型』グループホーム 南天』がオープンすることになりました!

今年9月の開設に向けて、現在急ピッチで工事が進められているところです。

認知症対応型グループホームとは、要介護状態で認知症となった方が1ユニット9人以下(南天は2ユニット18人以下)の少人数の生活の場で、できる限り家庭に近い環境のもと助け合いながら共同生活を送ります。専門の研修を受けたスタッフと一緒に食事を作ったり、洗濯や掃除

などをみんなで分担し、また、入浴や排泄に伴う個別のケアや機能訓練など、一人ひとりにふさわしいケアが提供されます。また認知症ケアの拠点として、共用型認知症対応型デイサービスを併設し外部の方と交流することができます。



名前の由来である「南天」は、音が「難転」すなわち「難を転ずる」に通ずることから縁起が良いとされ、お年寄りが転んだ時に寄りかかれるよう難を避ける木としても公園によく植えられます。

認知症を持つ方の医療を受ける権利を推進し、住まいに対する不安を解消することで、南天は地域社会に貢献してまいります。

在宅介護事業部 今村 諭史



完成イメージ

### 編集後記



今号の記事にありましたように、共和会では日頃の仕事の中で起きたこと、考えたこと等を他の職員も共有できるように、様々な部門で勉強会を行なっています。たくさんの方の事例や考察、研究から改善方法を学ぶことに

よって、職員一人ひとりが自律して考え、チームに活かしていけます。これからも、当法人ならではの特徴的な勉強会を紹介させていただきたいと思っています。

広報誌委員会 丸山 浩史

『お気軽ストレッチ』

在宅ワークや外出自粛でテレビやスマホ、タブレットを見る機会が増えていませんか？画面をじーっと見入っているとだんだん背中や腰が丸まり、あごが前に出て、足の動きも硬くなってしまいます。姿勢が崩れてくると筋筋膜性の頭痛や肩こり、腰痛の原因となります。ここではそんな状態を解きほぐすストレッチをご紹介します。

① 筋性の頭痛改善【首】



あごを後ろに引きます

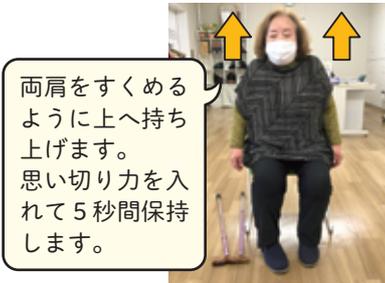


後頭部を壁などにつけて

下を向くのではなく壁と首の空間をうめるようにして5秒間保持します

寝ながらやっても効果的です。

② 肩こりの予防【肩】

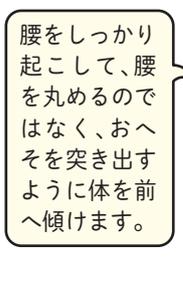


ストンと一気に力を抜きます

③ 腰痛予防【足】



椅子に浅く腰掛け、つま先を上に向けて膝を伸ばします。



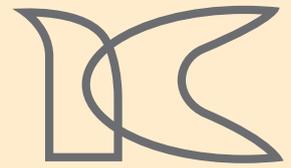
腰をしっかり起こして、腰を丸めるのではなく、おへそを突き出すように体を前へ傾けます。



膝の裏が突っ張ってきたところで止め、20~30秒ゆっくりと伸ばします。反動はつけないようにしましょう。続けて反対の足も行います。

ストレッチをすると血行が良くなり、疲労物質の分解が促されます。また、副交感神経が優位になり、リラックス効果が得られます。仕事やテレビの合間に『お気軽ストレッチ』で心も体もほっこりしませんか？

理学療法士 伊奈 克昌



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 職員のチームワークと創造性が高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・神経内科  
精神科・心療内科・循環器内科・肛門外科  
放射線科・リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)  
URL <http://www.kyowa.or.jp/>

★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日 19:00~19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー  
共和病院 副院長 松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに温かいメッセージをお送りします。是非お聞かせください。

おもいやり共和の  
キラキラチアナイト

当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

8月12日(木)～8月15日(日)は、お盆につき外来診療を休診させていただきます。